

武蔵浦和駅第 1 街区 B 1 棟（公益施設棟）における 工事現場火災事故の状況及び今後の予定について

独立行政法人都市再生機構（以下「UR都市機構」という。）は、さいたま市の「さいたま希望（ゆめ）のまちプラン」の実現のため、さいたま市からのご要請に基づき、武蔵浦和駅前において第一種市街地再開発事業を施行しています。

この事業に関して、UR都市機構が発注し、戸田建設株式会社（以下「戸田建設」という。）が行っている第 1 街区 B 1 棟建設工事の工事現場において、平成 24 年 1 月 17 日に発生した火災事故の状況及び今後の予定について、下記のとおりお知らせいたします。

今回の火災事故により、近隣の皆様をはじめとするさいたま市民の皆様、さいたま市をはじめ関係者の皆様にご迷惑をおかけしており、深くお詫び申し上げます。UR都市機構及び戸田建設は、今後、速やかに火災事故による B 1 棟建物への影響等を調査し、さいたま市と今後の対処方法、スケジュール等について協議をさせていただき、できる限り早期に引渡しができるよう努力いたします。

記

1 市街地再開発事業の概要

別添パンフレットをご覧ください。

2 火災事故の状況

（1）火災事故の経緯

平成 24 年 1 月 17 日（火）午前 10 時過ぎ（消防が調査中）

B 1 棟 7 階パイプシャフト・アラーム弁室（※）から出火

※給排水管・ガス管及びスプリンクラーの流水検知装置（アラーム弁）を収納するスペース。

平成 24 年 1 月 17 日（火）午後 1 時 26 分

さいたま市南消防署により鎮火

（2）火災事故の原因

B 1 棟 7 階パイプシャフト・アラーム弁室において、戸田建設工事作業員が溶接作業を行っており、溶接の火種がダンボールに移り、さらに冷媒管の保温材に引火し、火は床開口部を上下階に伝わり延焼した可能性が高いとさいたま市消防局より連絡を受けています。

(3) 被災状況

死傷者：なし

焼損床面積：約 751 m²

(5階約 35 m²・6階約 24 m²・7階約 155 m²・8階約 313 m²・9階約 85 m²・10階約 120 m²・屋上 19 m²)

3 火災事故に係る建物調査について

(1) 1次調査

2次調査の範囲等を特定するため、目視観察により、部材及び建物の火害の程度の把握を行いました。

1月20日から22日にかけて行った予備調査を踏まえ、1月23日から25日にかけて1次調査を行いました。

(2) 第三者機関による2次調査

3月下旬(現時点での見通し)までの間、中立的立場の第三者機関による調査を実施し、具体的な補修方法等について検討いたします。

2次調査については、社団法人建築研究振興協会に依頼しています。

4 B1棟(公益施設棟)の引渡しについて

B1棟は平成24年4月13日にUR都市機構からさいたま市に引き渡す予定となっていましたが、今回の火災事故についての第三者機関による調査、さいたま市との協議及び補修工事の実施等により、引渡し時期が遅れることとなります。引渡し時期の遅れにより、さいたま市民の皆様、及びさいたま市をはじめ関係者の皆様にご迷惑をおかけしており、重ねて深くお詫び申し上げます。

なお、新たな引渡し時期等につきましては、さいたま市と協議したうえで決定したいと考えています。

お問い合わせは下記へお願いします。

独立行政法人都市再生機構

東日本都市再生本部 総務部 総務チーム

(電話) 03-5323-0087

東日本都市再生本部 武蔵浦和再開発事務所

(電話) 048-839-1330

戸田建設株式会社

関東支店 総務部

(電話) 048-827-1301